（参考）サイバーセキュリティ（分野横断的課題）の検討の観点（例）

参考資料

令和８年２月20日　サイバーセキュリティ推進専門家会議第４回会合 資料１より抜粋

●**検討にあたっては、例えば、以下のような観点が考えられるのではないか。**

1　サイバー脅威に対する防御・抑止

・能動的サイバー防御を含め、**深刻化するサイバー脅威**に対する**防御・抑止の一層の強化・加速**

（インシデント対処高度化、情報の集約・分析・活用、能動的な防御・抑止、体制・基盤・人材等整備の推進・加速
新協議会等を通じた官民間の双方向・能動的な情報共有・対策サイクル形成の推進、脅威ハンティングの実践推進、国際連携の推進　等）

2 社会全体のサイバーセキュリティ及びレジリエンスの向上

・**経済社会の基盤**である、**政府機関・重要インフラ等**における**対策・レジリエンスの底上げ**

（政府機関等：機密性の高い情報を扱うクラウドの扱い、サプライチェーンリスク対策、GSOC高度化・CYXROSS導入拡大　等。
重要インフラ等：重要インフラ統一基準を通じた水準底上げ　等）

・**一層の対策が必要な分野**（サプライチェーン、中小企業、地方自治体、大学等、医療分野等）における**効率的・効果的なサイバー対応の推進**

（JC-STARやサプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）等の活用推進、一層の対策が必要な分野への効率的・効果的支援（例：セキュリティ基盤や支援リソースの共有（地方公共団体等）、集団的防御の枠組み整備（中小企業）　等））

3　人材・技術に係るエコシステム形成

・我が国の**サイバー対応能力・自律性向上**に向けた、**人材・技術・産業の育成・確保の強化**

（人材フレームワーク運用、サイバー教育・演習等の充実（CYDER、中核人材育成プログラム等）、
研究・技術開発（経済安全保障重要技術育成プログラム（Kプロ）等）、
産業育成（CYXROSSで得られた技術・情報等の民間への開放、政府機関等による有望な製品等の試行的活用、我が国事業者の海外進出促進　等）

・**AI・量子技術等の先端技術の進展**を見越した**対応の加速**

（AI技術の進展・普及等に伴うサイバー脅威に的確に対応するための、サイバー防御へのAIの積極活用、AIへの攻撃/AIの悪用への対応に向けた研究開発、ルール形成、社会実装、人材育成等。PQCへの移行に向けた対応　等）